Publication: Tsushin Kogyo Shimbun (Telecommunications Industry Newspaper)
Date：2010/01/25
Subject: Series – The Evolving Telecom Industry --- from NetEvents 2009 (No. 5)
Carrier Ethernet Entering Key Stage
Supporting the Mutual Connection Needs (Page 4)

シリーズ
進化するテレコム企業 ⑤
「Net Events 2009」から

キャリアイーサが本番
相互接続ニーズを支援

CENX

米CENX社（シーイーエヌエックス、本社・ロサンゼルス、ナン・チェン社長兼CEO）は、キャリアグレードのイーサネットおよびサービスの相互運用性向上、標準化に取り組んできた業界団体、メトロイーサネット・フォーラム（MEF）の代表を務めるナン・チェン氏が、09年2月に設立した。世界各国の通信キャリアがイーサネットを相互接続するための交換サービス（IX）を提供する。

ナン・チェン社長兼CEO

ナン・チェン社長は、「設立当初、通信事業者やメーカなどのアソシエーション組織も浮上したが、イニシアティブを発揮できる独立会社形態で発足した」という。MEFには150社以上のメンバーが加盟するが、最初は機動性が求められるため、ベライゾン、AT&T、レベル3、オレンジ・ビジネス・サービス、タタ・コミュニケーションズ、ケーブルビジョン、Cox の7社の相互接続によるスモールスタートとなった。IX拠点も当初ニューヨーク、シカゴ、ロサンゼルスの3カ所に設置し、09年11月3日にキャリア向けイーサネット交換サービスの提供を開始した。今後このIX拠点を北米に7カ所、アジア・パシフィック地域に7カ所、欧州に3カ所開設する予定だ。

今後、IXを仲介するIPトラフィックは音声、映像、データ、ストレージ、セキュリティ需要の増大により急増する見通しだ。CENXでは、全世界のキャリア・イーサネットサービス市場は今後2ケタ成長で推移し、13年には146億ドル規模に拡大すると見込んでいる。

CENXが提供するソリューションは、中立的なコロケーション、データセンターにおける柔軟な接続性とサービス制御機能、多様なメニュー、リアルタイム管理などが特徴。「CENXの目標は、通信事業者に対してキャリア・イーサネットの相互接続におけるコスト削減を実現すること。これによって各社の収益向上に寄与できる」とチェン社長は話す。

MEF

世界の主要通信事業者、ネットワーク機器ベンダが加盟し、キャリアグレードのイーサネットネットワークおよびサービスの相互運用性向上、標準化に取り組んでいる業界団体、MEFのケビン・バックホンCOOは本紙の取材に対し、キャリア・イーサネットサービスが需要拡大フェーズに入った市場動向に対応し、最新のサービスと関連情報を共有するためのオンラインツール「MEFグローバル・サービス・ディレクトリー（GSD）」の提供が順調に活用されている現状を明らかにした。

ケビン・バックホンCOO

MEF発足の初期の開拓的な作業では、技術仕様を定めるのに先駆けて、世界規模での意見交換の場を作り上げることが先決で、技術デモの供給に専念。現在では機器メーカやキャリア、ISPなどが加盟しており、日本からはNTTやKDDIなどがメンバーとして参加している。

これまでキャリアクラスのイーサネットの技術仕様をIETFやIEEEなど他の標準化団体が推進してきたのに対して、MEFでは「サービスという視点から取り組んでいる」（ケビン・バックホンCOO）。このためMEFでは、NNI（網間）、UNI（ユーザ・網間）、SNI（サーバ・網間）などの相互接続性を検証し、QoS（サービス品質）特性に対する適合性を保証する独自の仕様および「MEF認証」を発行している。具体的には、データ集約型ビジネスアプリケーションをサポートするSLA（サービス水準保証）の要求事項を厳格に規定し、キャリアグレードの相互接続性を公認する。

08年6月にMEFが新たに提供を開始した「GSD」のオンラインツールは、最新のサービス動向と関連データを無料で検索できる。今後、企業ネットワークインフラの拡大強化を計画している大企業や通信事業者／ISP向けに、調達ベンダについても紹介する。

今後はアジア・パシフィック（APEC）地域での拡大に注力する考え。今後の見通しについてバックホンCOOは「キャリア・イーサネットのグローバルな採用と、MEFサービス仕様の世界的な認知を目指す。とりわけAPECにおいては例外的な成長を遂げたことで、MEFは市場の巨頭たるベンダやサービスプロバイダ、新興の技術企業に加え、適応エリアも広がった。これにより技術仕様の策定などの場で大きな発言権を持つようになった」と述べた。さらに普及促進のための各国巡回イベント「キャリア・イーサネット・ビジネスセミナー・ワールドツアー」でNGN需要をターゲットに戦略的な運営体制を展開したい考えだ。

通信興業新聞
通信興業新聞社
発行所　東京都中央区銀座7－3－13
発行人　鈴木　茂
郵便番号　104-0061
電話　(03)3572-4488(代)
FAX　(03)3572-4866
振替口座　00170-6-100661